

放射線診断科がおすすめする初期臨床研修プラン

放射線診断学は画像を通じて全診療科と関わるいわば「臨床医学のインフラストラクチャー」です。正確な画像診断は、早期発見・早期治療・適切な治療方針の選択に役立ちます。放射線診断学を充実させることは臨床医学のレベルアップに直結します。従って、臨床医学の向上には放射線診断医が必要です。

放射線診断医の仕事は、CT・MRI・核医学などの医療画像を読影し、画像診断レポートを作成することです。多種類の撮影方法で撮影された大量の画像を読影するのは簡単ではありませんが、画像診断の専門家である放射線診断医が画像評価して正確な画像診断をすることにより、医療の質が向上します。

更に、最善な検査となるよう、適切な撮影条件を選択・指示することも放射線診断医の大事な役割です。日々進歩する検査機器の性能を十分に発揮するには、放射線診断医の専門的知識が必要です。

臨床医の専門領域が細分化される傾向にある中、領域の垣根を越えて横断的・総合的に全身の画像評価を行うことができる放射線診断医の存在が、今後ますます重要になります。

放射線診断科を志望する研修医には、1年目は内科・救急など医師としての礎となる分野をしっかりと学び、そのうえで最短でも4週間は放射線診断科を選択し、学生時代に漠然と考えていた放射線診断科に医師として触れることで魅力を感じていただきたいです。2年目は放射線診断科で最短でも8週間、可能であればもっと長期間の研修を選択いただき、画像診断の専門家として臨床診療に貢献し、放射線診断医として働く青写真を描いていただきたいです。

放射線診断科の研修は、大学病院ではCT・MRI・核医学における画像診断について、協力型研修病院ではCT・MRI・核医学を中心とする一般的な放射線診断科における画像診断について、専攻医と同じように指導いたします。大学では通常業務としての画像診断以外にも、各診療科のカンファレンスやカンサーボードへの参加、静脈路確保や造影剤投与による副作用出現時の初期対応なども経験でき、放射線診断医・医師としての業務や考え方のトレーニングも行います。

1. 研修病院の選択

A・Bコース

協力型研修病院のうち下記の教育関連施設を選択していただくと大学教室とつながりを持ちやすいです。

いずれも放射線専門医が在籍しており、common diseaseの画像診断を経験できます。

Bコースは1年目に放射線診断科を選択できる病院をお勧めします。

放射線診断科の教育関連施設（2020年4月現在）

協力型研修病院	函館五稜郭病院	市立室蘭総合病院	KKR 札幌医療センター
(たすきがけ病院)	市立札幌病院	手稲溪仁会病院	

研修協力施設

Cコース

放射線診断科の場合、短期研修はできません。

2. 放射線診断科医になるために研修が望ましい診療科

放射線診断医にとっては、実際の標本検体を観察して診療する病理診断科は選択するとよいと思います。必修の内科では消化器、循環器、呼吸器内科を各8週、外科は消化器外科4週をお勧めします。

3. コース選択

Aコース：放射線診断科を含めた複数の専攻先診療科で迷っている場合

- ・common disease の画像診断を多く経験することができ、市中病院における放射線診断科の業務を学べます。
- ・1年次は大学で4週間以上、2年次は8週間以上、放射線診断科での研修をお薦めします。

1年次 大学病院													
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
可能な時期に放射線診断科（4週間以上）での研修をお薦めします。													
2年次 協力型研修病院													
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
可能な時期に放射線診断科（8週間以上）での研修をお薦めします。 最後の8週間を放射線診断科で研修すれば、専門研修にスムーズに移行できます。												選択 放射線診断科	

Bコース：放射線診断科への入局を希望する場合

- ・専門性の高い領域の画像診断を多く経験することができ、common disease の画像診断も経験できます。
- ・Aコースと同じく1年次では4週間、2年次は大学病院で8週間以上、放射線診断科の選択をお薦めします。

1年次 協力型研修病院													
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
可能な時期に放射線診断科（4週間）での研修をお薦めします。													
2年次 大学病院													
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
可能な時期に放射線診断科（8週間以上）での研修をお薦めします。 最後の8週間を放射線診断科で研修すれば、専門研修にスムーズに移行できます。												選択 放射線診断科	

Cコース：より幅広く経験して専攻先診療科を決めたい場合

- ・common disease の画像診断に加えて専門性の高い領域の画像診断も経験できます。

1年次 大学病院													
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
可能な時期に放射線診断科（4週間）での研修をお薦めします。													
2年次 大学病院													
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
可能な時期に放射線診断科（8週間以上）での研修をお薦めします。 最後の8週間を放射線診断科で研修すれば、専門研修にスムーズに移行できます。												選択 放射線診断科	